

## 支部活動報告：埼玉県支部「親のための就職活動相談会」

平成23年12月11日(日) 第一部は、神奈川県支部と埼玉県支部合同の就職情報会社によるセミナー  
第二部は、現役学生2名の体験談、後半は卒業生父母3名による体験談と質疑応答で開催されました。

### (第一部)

J&Lキャリアデザイン事務所 齊藤 由美子氏より、

私たち親世代では、まったく経験のない、'エントリーシート'なるものの、説明、事例を細かく教えていただきました。エントリーシートの厳しい選考からグループディスカッション、面接と進む、採用試験の過程についてお聞きしました。フェイスブック等を使ったソーシャルネットワーク採用など、多様な情報とスピードも要求される、現在の就職活動に驚かされる場面も、多数ありました。

よく言われる、'正解がない就活'と言われていても、今後の社会人生活に、役立つ体験だったと感じるまでには、まだまだ、厳しい現実が待っているようです。

挨拶の基本練習などの指導もあり、基本的な敬語を私たち親の立場としても、日常的に正しく使っているかどうか、再認識されました。



齊藤 由美子先生の講演風景

### (第二部)

前半のパネルディスカッションは、工学部一部 物理学科 大泉由紀子氏と、工学部二部 電気工学科 海老澤 恵氏より、内定をもらうまでの体験談を、パネルを使って発表してもらいました。

会社訪問の際での志望動機について、そして、親の職業をきちんと説明できること、当然なのかもしれませんが、今まで取り組んできた勉強のアピールの仕方や、TOEIC受験のような、英語の必要性などについて、お話を伺い、さすが、理科大生と思わせるスピーチに、感激いたしました。

また、親に対しての希望として、「ある程度無関心でいてほしい」これは、やはり一番気にしているのは本人であり、そっとしておいて欲しい。そして、「お金の援助」会社訪問の交通費は、都内移動でもばかにならなく、就活の期間中バイトも今まで通りにできない。企業の工場見学で地方に行ったりしたら、就活バックのなかに弁当持参もできず、外食ばかりとなるため、金銭面では、ぜひとも親として協力をしなければ、と強く受け止めました。



大泉さんと海老澤さんの発表風景

後半は、平成22年度の卒業生3名の保護者による、家庭で感じた、親としての就職活動の体験を語っていただき、「エントリーシート」という紙との戦い、そして面談での「人」と戦うという違い、グループ・ディスカッションでの得点の評価の判りにくさの悩みについてと、理科大OBへのコンタクトを取ることの重要性についてや、重要なアドバイスで、エントリーシートの字をきれいに書き見た目を良くすること、それと、公的資格を取ることなど語っていただきました。



卒業生3名の保護者によるパネルディスカッションの風景



発表者全員による記念撮影

第一部、第二部とも超満員で、あっという間に時間が過ぎ、質疑応答の時間も足りないほどでした。なお、第一部のパネルについては、神奈川県支部の報告のなかに、掲載されております。

第二部のパネルディスカッションで、貴重な体験談を語ってくださった、学生さん2名と、卒業生父母3名の皆様方の暖かいご協力をいただき、大盛況に開催することができました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

すでに始まった、来年度の就職活動の大切な第一歩になった、「親のための就職相談会」でした。